

第2学年 (前期) 数学科 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
・式の計算 ・式の利用 ・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の利用 ・1次関数	○2種類以上含む式の計算ができる。 ○単項式どうしの乗除の計算ができる。 ○目的に応じて式を変形することができる。 ○数量および数量の関係をとらえるために文字式を利用することができる。 ○二元一次方程式と解の意味を理解することができる。 ○連立方程式とその解の意味を理解し、様々な連立方程式を解くことができる。 ○具体的な日常の問題に対して、連立方程式を利用して解決しようとすることができる。 ○具体的な問題を、連立方程式を立てて解く事ができる。 ○具体的な事象の中から、1次関数を見だし、式に表すことができる。 ○1次関数がどういう関数なのか特徴を見だし、表、式、グラフに表すことができる。 ○1次関数の意味を理解し、表、グラフ、式を関連付けて処理できる。 ○連立方程式の解とグラフとの関係を理解することができる。

評価・評定について				
評価の観点	関心・意欲・態度	見方・考え方	技能	知識・理解
評定に対する観点の割合 (%)	25%	25%	25%	25%
評価事項	提出物 ・ワーク ・ノート ・週末課題 授業観察	第1回定期試験 第2回定期試験 課題テスト 単元末テスト 小テスト 課題プリント など	第1回定期試験 第2回定期試験 課題テスト 単元末テスト 小テスト 課題プリント など	第1回定期試験 第2回定期試験 課題テスト 単元末テスト 小テスト 課題プリント など